

自然科学や医療研究 県内の3人に奨励金

ウェルシーズ財団

熊本県内の研究者を支援する一般財団法人「ウェルシーズ財団」(熊本市、井出博之代表理事)は21日、自然科学や医療分野の3人にそれぞれ奨励金50万円を贈った。

2022年から毎年助成

しており、今回は12人から応募があった。糖尿病などを引き起こす終末糖化産物を研究する崇城大薬学部の宮内優講師(38)、ヒルガオ科特有の成分を分析する東海大大学院農学研究科の西川大貴さん(25)、管理栄養士の視点で県産品の利用法を学生と探る尚絅大生活科学部の坂田敦子教授(65)を選んだ。

熊本市中央区の熊本テルサで贈呈式があり、井出代表理事は「興奮するような研究をぜひ成功させてほしい」と激励した。

(馬場正広)